

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成16年9月30日(2004.9.30)

【公開番号】特開2002-64866(P2002-64866A)

【公開日】平成14年2月28日(2002.2.28)

【出願番号】特願2000-247649(P2000-247649)

【国際特許分類第7版】

H 04 Q 7/38

G 06 F 1/26

H 04 Q 7/34

H 04 M 1/00

H 04 M 1/725

【F I】

H 04 B 7/26 109H

H 04 M 1/00 W

H 04 M 1/00 L

H 04 M 1/725

G 06 F 1/00 334E

H 04 B 7/26 106A

H 04 B 7/26 109M

【手続補正書】

【提出日】平成15年9月12日(2003.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線を介して公衆通信網に接続可能な通信手段を有する携帯端末装置において、前記通信手段が稼動可能な汎用モード、および該通信手段が非稼動になり、該通信手段と連動しない非通信手段を使用可能な非通信モードを切り替え可能なモード切替手段を有することを特徴とする携帯端末装置。

【請求項2】

請求項1において、前記モード切替手段は、前記通信手段への電力供給をオンオフする手段であることを特徴とする携帯端末装置。

【請求項3】

請求項1において、前記携帯端末装置は、携帯電話またはPHSであることを特徴とする携帯端末装置。

【請求項4】

請求項1において、当該携帯端末装置の現在位置の情報を取得可能な位置情報取得手段を有し、前記モード切替手段は前記現在位置に基づき前記汎用モードおよび/または前記非通信モードに切り替えることを特徴とする携帯端末装置。

【請求項5】

請求項4において、前記モード切替手段は、前記位置情報取得手段で前記現在位置の情報が得られないときは、前記非通信モードに切り替えることを特徴とする携帯端末装置。

【請求項6】

請求項4において、前記モード切替手段は、前記位置情報取得手段で前記現在位置の情報

が得られるようになったときは、前記汎用モードに切り替えることを特徴とする携帯端末装置。

【請求項 7】

請求項 1において、さらに、前記通信手段に繋がる伸縮可能な通信用アンテナを有し、前記モード切替手段は、この通信用アンテナの伸び縮みに対応して前記汎用モードおよび前記非通信モードに切り替えることを特徴とする携帯端末装置。

【請求項 8】

請求項 1において、前記非通信モードであることを外部から識別可能な識別情報を出力する手段を有することを特徴とする携帯端末装置。

【請求項 9】

請求項 1において、さらに、前記汎用モードおよび前記非通信モードにおいて使用される汎用の第 1 の表示手段と、前記非通信モードであることを外部から識別可能な識別表示を表示する第 2 の表示手段とを有することを特徴とする携帯端末装置。

【請求項 10】

請求項 9において、前記第 2 の表示手段は、前記第 1 の表示手段が設けられた該携帯端末装置の面と反対側の面に設けられていることを特徴とする携帯端末装置。

【請求項 11】

請求項 9において、前記モード切替手段は、前記第 2 の表示手段を兼ねた切替スイッチを備えていることを特徴とする携帯端末装置。

【請求項 12】

請求項 9において、前記第 2 の表示手段は予めデザインされた前記識別表示を備えており、前記非通信モードに切り替わると前記識別表示が点灯することを特徴とする携帯端末装置。

【請求項 13】

請求項 9において、前記第 2 の表示手段は、キャラクタまたはイメージの表示が可能であり、前記非通信モードに切り替わるとユーザが選択または作成した前記識別表示を前記第 2 の表示手段に表示する手段を有することを特徴とする携帯端末装置。

【請求項 14】

無線を介して公衆通信網に接続可能な通信手段を有する携帯端末装置の制御方法であって、

前記通信手段が稼動可能な汎用モードに切り替える第 1 の工程と、該通信手段は非稼動になり、該通信手段と連動しない非通信手段を使用可能な非通信モードに切り替える第 2 の工程とを有することを特徴とする携帯端末装置の制御方法。

【請求項 15】

請求項 14において、前記携帯端末装置は携帯電話または P H S であることを特徴とする携帯端末装置の制御方法。

【請求項 16】

請求項 14において、前記携帯端末装置の現在位置の情報を取得する位置情報取得工程を有し、

前記第 1 および / または第 2 の工程では、前記位置情報取得工程で得た前記現在位置に基づき切り替えることを特徴とする携帯端末装置の制御方法。

【請求項 17】

請求項 16において、前記第 2 の工程では、前記現在位置の情報を得られないときに、前記非通信モードに切り替えることを特徴とする携帯端末装置の制御方法。

【請求項 18】

請求項 16において、前記第 2 の工程では、前記現在位置の情報が得られるようになったときに、前記汎用モードに切り替えることを特徴とする携帯端末装置の制御方法。

【請求項 19】

請求項 14において、前記携帯端末装置は、前記通信手段に接続された伸縮可能な通信用アンテナを有しており、前記第 1 および第 2 の工程では、前記通信用アンテナの伸び縮み

に応じて切り替えることを特徴とする携帯端末装置の制御方法。

【請求項 2 0】

請求項 1 4 において、前記携帯端末装置は、非通信モードであることを外部から識別可能な識別情報を出力する手段を有し、前記第 2 の工程では、前記出力を稼動することを特徴とする携帯端末装置の制御方法。

【請求項 2 1】

請求項 1 4 において、前記携帯端末装置は、前記汎用モードおよび前記非通信モードにおいて使用される汎用の第 1 の表示手段に加え、前記非通信モードであることを外部から識別可能な識別表示を表示する第 2 の表示手段を有しており、

前記第 2 の工程では、前記第 2 の表示手段により前記識別表示を表示することを特徴とする携帯端末装置の制御方法。

【請求項 2 2】

請求項 2 1 において、前記第 2 の表示手段は、予めデザインされた前記識別表示を点灯可能であり、前記第 2 の工程では、前記第 2 の表示手段を点灯することを特徴とする携帯端末装置の制御方法。

【請求項 2 3】

請求項 2 1 において、前記第 2 の表示手段はキャラクタまたはイメージを表示可能であり、前記第 2 の工程では、ユーザが選択または作成した前記識別表示を前記第 2 の表示手段に表示することを特徴とする携帯端末装置の制御方法。

【請求項 2 4】

無線を介して公衆通信網に接続可能な通信手段を有する携帯端末装置の制御プログラムであって、

前記通信手段が稼動可能な汎用モードに切り換える第 1 の工程と、

該通信手段は非稼動になり、該通信手段と連動しない非通信手段を使用可能な非通信モードに切り替える第 2 の工程とを実行可能な命令を有する前記制御プログラムが記録されていることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2 5】

請求項 2 4 において、前記携帯端末装置の現在位置の情報を取得する位置情報取得工程をさらに有し、

前記第 1 および / または第 2 の工程では、前記位置情報取得工程で得た前記現在位置に基づき切り替える処理を実行可能な命令を有する前記制御プログラムが記録されていることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2 6】

請求項 2 5 において、前記第 2 の工程では、前記現在位置の情報を得られないときに、前記非通信モードに切り替える処理を実行可能な命令を有する前記制御プログラムが記録されていることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2 7】

請求項 2 5 において、前記第 2 の工程では、前記現在位置の情報がえられるようになったときに、前記汎用モードに切り替える処理を実行可能な命令を有する前記制御プログラムが記録されていることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2 8】

請求項 2 5 において、前記携帯端末装置は、前記汎用モードおよび前記非通信モードにおいて使用される汎用の第 1 の表示手段に加え、前記非通信モードであることを外部から識別可能な識別表示を表示する第 2 の表示手段を有しており、

前記第 2 の工程では、前記第 2 の表示手段により前記識別表示を表示する処理を実行可能な命令を有する前記制御プログラムが記録されていることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。